

遠野市地球温暖化対策実行計画  
平成 25 年度実績報告

平成 26 年 9 月

# 目次

1	遠野市地球温暖化対策実行計画について	1
(1)	概要	1
(2)	計画の期間	1
(3)	計画の目標	1
(4)	対象とする事務及び事業の範囲	1
(5)	対象とする温室効果ガス	1
(6)	取り組み項目	1
2	省エネルギーに関する実績	2
(1)	温室効果ガス（二酸化炭素）総排出量及び活動量実績	2
(2)	使用量等の状況	3
ア	電気使用量	3
イ	A重油購入量	4
ウ	灯油購入量	5
エ	LPガス使用量	6
オ	ガソリン購入量	7
カ	軽油購入量	8
(3)	各部ごとのエネルギー使用量及び購入量	9
ア	電気及び設備燃料の使用量	9
イ	公用車燃料の購入量	11
3	省資源に関する状況について	12
4	平成25年度の取組状況について	12
(1)	全庁対象の取組み	12
(2)	課ごとの取組み	12
5	今後の取り組みについて	13
(1)	第2次遠野市地球温暖化対策実行計画の見直し	13
(2)	調査項目の一部変更	13
(3)	再生可能エネルギー及び省エネルギー設備の導入	13
(4)	使用エネルギーの削減（直接的な温室効果ガス排出抑制）	13
(5)	事務用紙購入量及び水道使用量の削減並びにごみの分別の徹底	14
ア	事務用紙購入量の削減	14
イ	水道使用量の削減	14
ウ	ごみの分別の徹底	14
	(添付資料1)	15
	(添付資料2)	16

## 1 遠野市地球温暖化対策実行計画について

### (1) 概要

本計画は地球温暖化の防止を図るため、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「ふるさと遠野の環境を守り育てる基本条例」の趣旨を踏まえて、平成19年3月に策定し、同年4月から取り組みを進めてきました。

平成24年3月、計画期間が満了したことに伴い、平成24年度以降も温室効果ガス排出削減に努めていくため、「第2次遠野市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

本報告は策定された実行計画に基づき、平成25年度の実施状況を取りまとめたものです。

### (2) 計画の期間

平成24年度から平成27年度までの4年間

(遠野市総合計画後期基本計画及び第2次遠野市環境基本計画の最終年度に合わせる。)

### (3) 計画の目標

平成27年度の二酸化炭素の排出量を基準年度である平成22年度と比較し4%削減(毎年度1%削減)

### (4) 対象とする事務及び事業の範囲

原則として本市の全ての事務及び事業の実施に伴う活動とします。

### (5) 対象とする温室効果ガス

二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素及びハイドロフルオロカーボンの4種類とします。

このうち、温室効果ガス排出量の95%を占める二酸化炭素の削減に直接貢献する項目について、数値目標を定めています。

### (6) 取り組み項目

温室効果ガス削減のための数値目標を掲げた項目を重点項目とします。

- ・電気の使用量の削減
- ・燃料設備における燃料使用量の削減
- ・公用車燃料使用量の削減

※ その他、間接的な温室効果ガスの排出抑制として、事務用紙購入量の削減や水道使用量の削減、ごみの分別及びリサイクルによる廃棄物の削減に取り組みます。

## 2 省エネルギーに関する実績

### (1) 温室効果ガス（二酸化炭素）総排出量及び活動量実績

平成 25 年度二酸化炭素排出量 8,395,159.5 kg-co2      5.0%増

排出量の構成

電気使用量	78.1%
設備用燃料	18.9% (A重油、灯油、LPガス)
公用車燃料	3.0% (ガソリン、軽油)

#### ○ 温室効果ガス排出状況

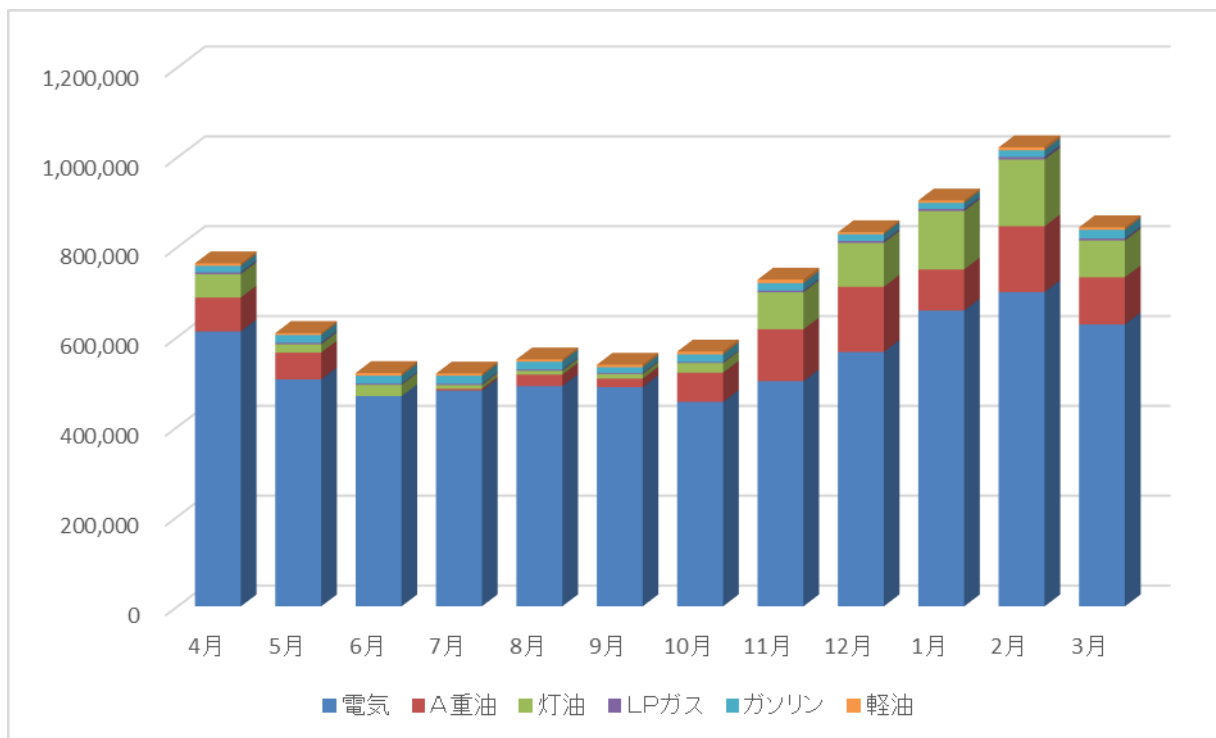
単位 kg-co2

項目		平成 22 年度 排出量 (基準年度)	平成 24 年度 排出量	平成 25 年度 排出量	24 年度比 増減率
二酸化炭素		7,631,570.1	7,992,827.5	8,395,159.5	5.0%
電気使用量	電気	5,178,640.9	5,839,973.7	6,552,617.5	12.2%
設備用燃料	A重油	1,480,589.5	1,104,430.3	852,261.3	△22.8%
	灯油	681,671.6	711,851.8	685,509.1	△3.7%
	LPガス	16,929.6	75,373.0	44,123.7	△41.5%
公用車燃料	ガソリン	183,005.0	195,521.1	193,814.1	△0.9%
	軽油	90,733.5	65,677.6	66,833.8	1.8%

※1 電気の二酸化炭素排出係数は毎年変更されます。

※2 二酸化炭素排出量平成 27 年度の目標値は 7,326,307.3 kg-co2 (基準年と比較して4%削減)

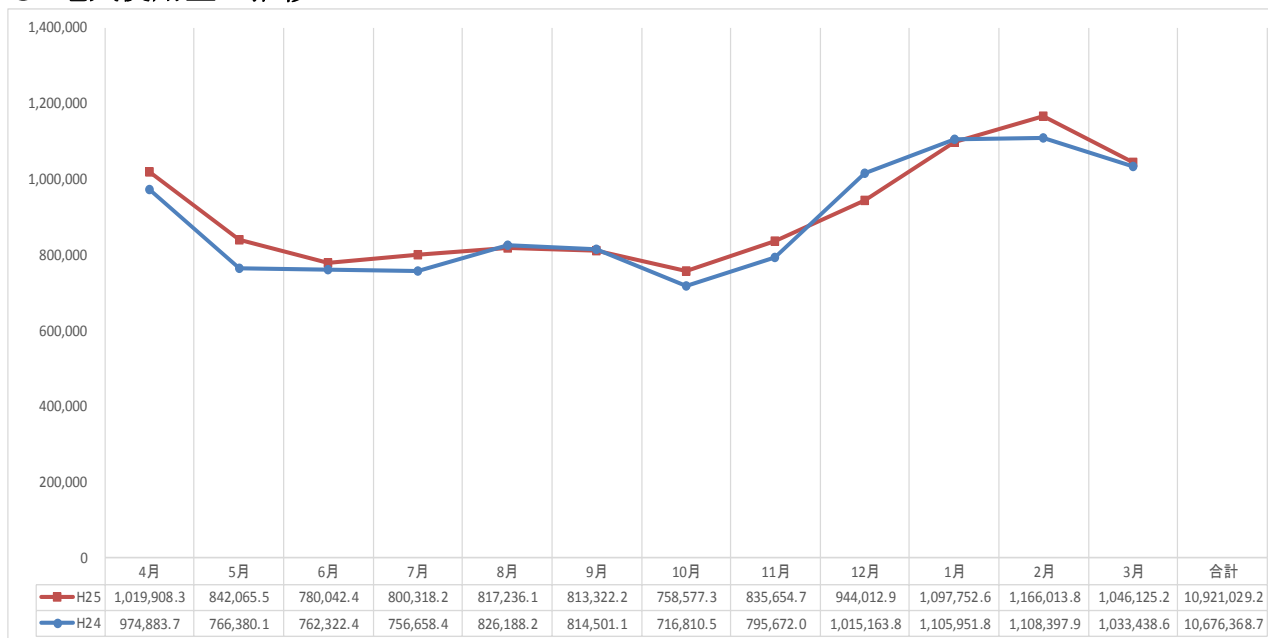
#### ○ 月別温室効果ガス排出量



## (2) 使用量等の状況

ア 電気使用量	増減率	2.3%増(244,660.5 kwh)
総使用量	平成 25 年度	10,921,029.2 kwh
	平成 24 年度	10,676,368.7 kwh

### ○ 電気使用量の推移



### ○ 使用量の多い施設 (上位 5 施設)

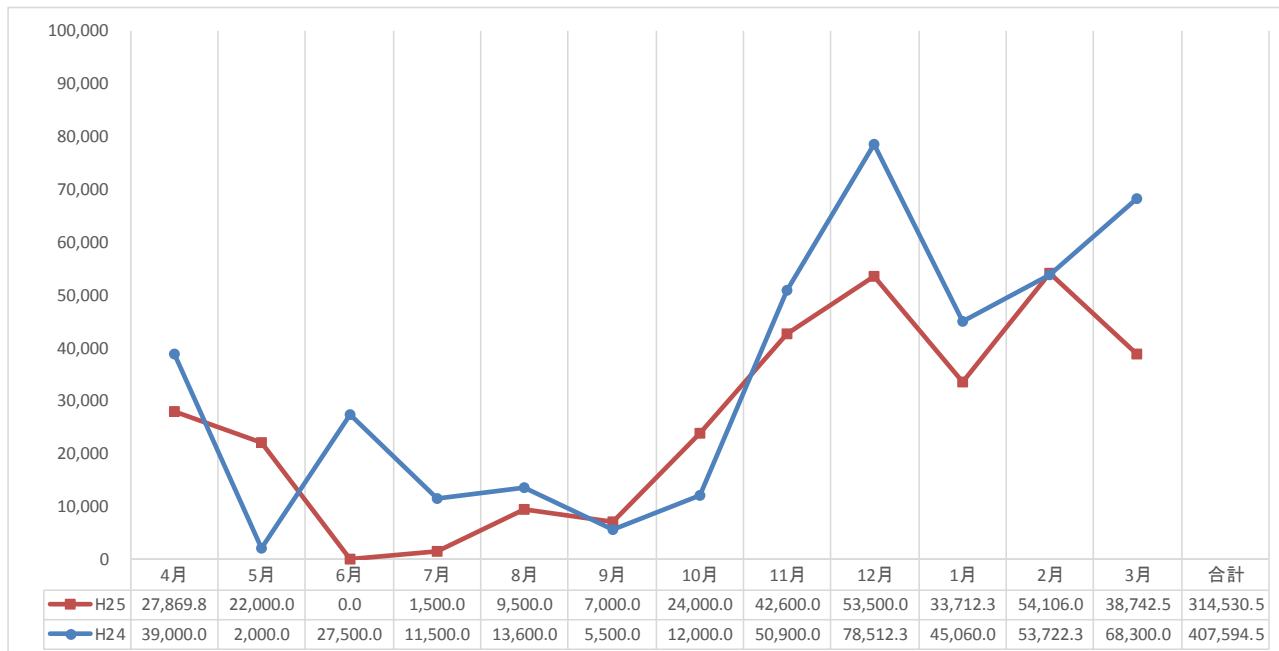
	施設名	使用量(kwh)		増減率	全体割合	増減要因及び使用内容
		H25	H24			
1	ごみ焼却施設 (清養園クリーンセンター)	H25	1,609,834.0	0.5%	14.7%	ごみの焼却量が増えたため増
		H24	1,602,193.0			
2	水道施設 (上水道担当)	H25	1,110,558.0	△3.5%	10.2%	有収水量の減少に伴い、ポンプの稼働が減ったため減
		H24	1,151,127.0			
3	し尿処理施設 (清養園クリーンセンター)	H25	1,102,376.0	△4.9%	10.1%	24年度は牧草処理施設分の電気使用量も含めていたため
		H24	1,159,729.0			
4	遠野浄化センター (下水道担当)	H25	1,021,953.1	△1.1%	9.4%	会議室等の使用頻度の減少及び浄化センター職員の節約により減
		H24	1,033,723.2			
5	総合食育センター	H25	945,411.0	590.4%	8.7%	平成 25 年4月からオール電化施設となったため増
		H24	136,945.0			

### ○ 電気使用量について

電気使用量は2.3%の増加となっています。増加理由としては施設の利用人数及び冷暖房機器の使用増加、また総合食育センターの本格稼働が挙げられます。結果として電気使用量は増加となってしまいましたが、節電に努める施設も多く、節電意識の定着がうかがえます。

イ A重油購入量 増減率 22.8%減(△93,064.0 ℓ)  
 総購入量 平成 25 年度 314,530.5 ℓ  
 平成 24 年度 407,594.5 ℓ

○ A重油購入量の推移



○購入量の多い施設（上位5施設）

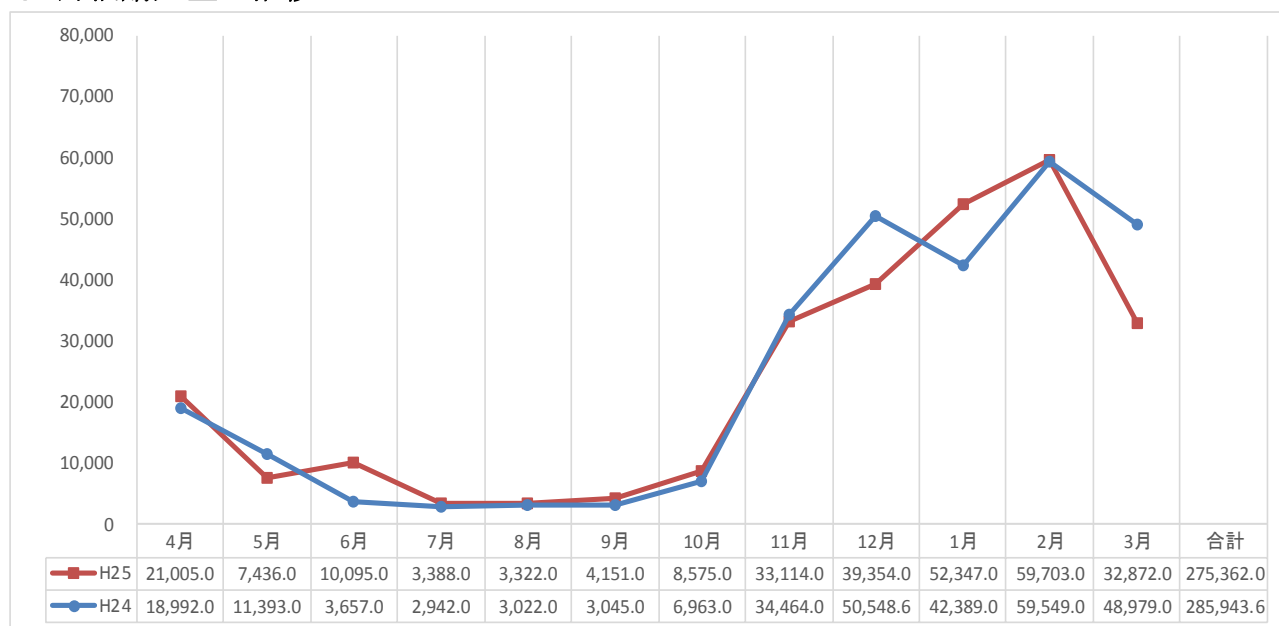
順位	施設名	購入量(ℓ)		増減率	全体割合	増減要因及び使用内容
		H25	H24			
1	市民センター	H25	124,000.0	△6.1%	39.4%	全館暖房を抑え、会議室等はファンヒーター(灯油)で対応をしたため減
		H24	132,000.0			
2	健康福祉の里	H25	62,000.0	6.9%	19.7%	備蓄量の増
		H24	58,000.0			
3	ごみ焼却施設 (清養園クリーンセンター)	H25	38,000.0	26.7%	12.1%	定期点検整備焼却炉耐火物補修を2回行い、乾燥焚き(48時間・24時間)に使用したため増えた。
		H24	30,000.0			
4	遠野小学校	H25	24,000.0	33.3%	7.6%	暖房設備使用の増
		H24	18,000.0			
5	とぴあ庁舎	H25	22,500.0	0.0%	7.2%	一元管理により、使用量は前年度と変わらない
		H24	22,500.0			

○ A重油購入量について

A重油購入量は22.8%の減少となっています。中学校統廃合による施設の減少(△24,764ℓ)及び総合食育センターがオール電化施設となったこと(△73,600ℓ)で減少となりました。

ウ 灯油購入量 増減率 3.7%減(△10,581.6 ℓ)  
 総購入量 平成 25 年度 275,362.0 ℓ  
 平成 24 年度 285,943.6 ℓ

○ 灯油購入量の推移



○ 購入量の多い施設（上位 5 施設）

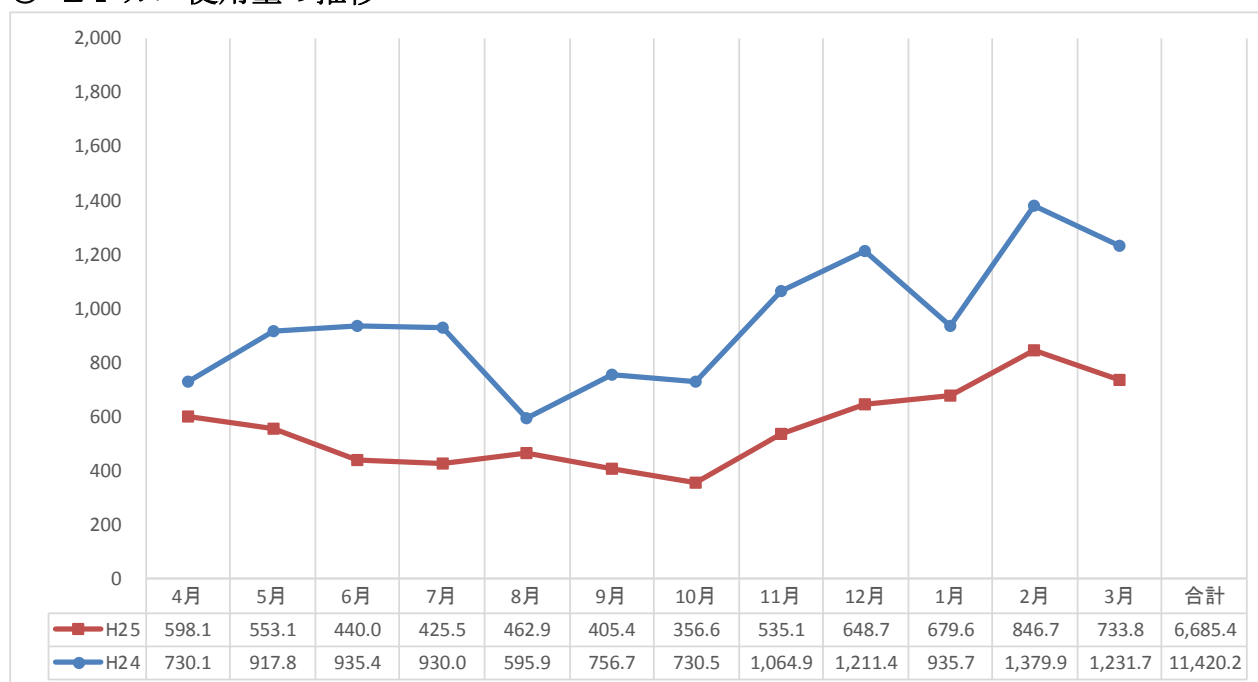
順位	施設名	購入量(ℓ)		増減率	全体割合	増減要因及び使用内容
		H25	H24			
1	ごみ焼却施設 (清養園クリーンセンター)	H25	29,634.0	△10.1%	10.8%	定期点検整備の工期を短縮したり、保養センターストーブ等の使用を抑えた
		H24	32,974.0			
2	斎場 (環境課)	H25	27,000.0	25.3%	9.8%	火葬件数の増 H25 548 件 ペット 91 件 H24 485 件 ペット 98 件
		H24	21,550.0			
3	図書館・博物館 (文化課)	H25	25,870.0	4.0%	9.4%	前年度に比べてボイラー稼働が早まったため増
		H24	24,880.0			
4	遠野北小学校	H25	19,638.0	△2.1%	7.1%	暖房設備使用の減
		H24	20,060.0			
5	遠野中学校	H25	19,042.0	0.6%	6.9%	チップボイラーの使用により、購入量が抑えられ前年度並み
		H24	18,929.0			

○ 灯油購入量について

灯油購入量は3.7%の減少となっています。A重油と同じく中学校の統廃合(△ 10,699ℓ)と宮守学校給食センターの廃止(△ 1,194ℓ)が減少した大きな要因と考えられます。減少した施設の大部分が理由として節約したことを挙げており、意識して節約に取り組んでいます。また、増加した施設についても、利用者の増加やエアコンの故障による代替として灯油を使用しており、ほとんどの施設が一時的な増加と思われます。

エ LPガス使用量 増減率 41.5%減(△4,734.8 m<sup>3</sup>)  
 総使用量 平成 25 年度 6,685.4 m<sup>3</sup>  
 平成 24 年度 11,420.2 m<sup>3</sup>

○ LPガス使用量の推移



○使用量の多い施設（上位5施設）

	施設名	使用量(m <sup>3</sup> )		前年度比	全体割合	増減要因及び使用内容
		H25	H24			
1	健康福祉の里	H25	1,606.0	7.1%	24.0%	ガス共同利用である「ふれあいホーム薬研淵」の利用者の増による調理時間の増
		H24	1,500.0			
2	遠野まちなかギャラリー (文化課)	H25	872.1	68.6%	13.0%	24年9月から6ヶ月間報告対象施設となり、25年度は1年間の実績となったため増
		H24	517.4			
3	遠野地区合同庁舎	H25	674.4	△6.1%	10.1%	給湯器使用の減
		H24	718.1			
4	遠野浄化センター (下水道担当)	H25	469.8	△4.0%	7.0%	浄化センターの給湯器及びシャワー室の使用減
		H24	489.4			
5	総合防災センター	H25	412.6	14.3%	6.2%	庁舎新設により増
		H24	361.0			

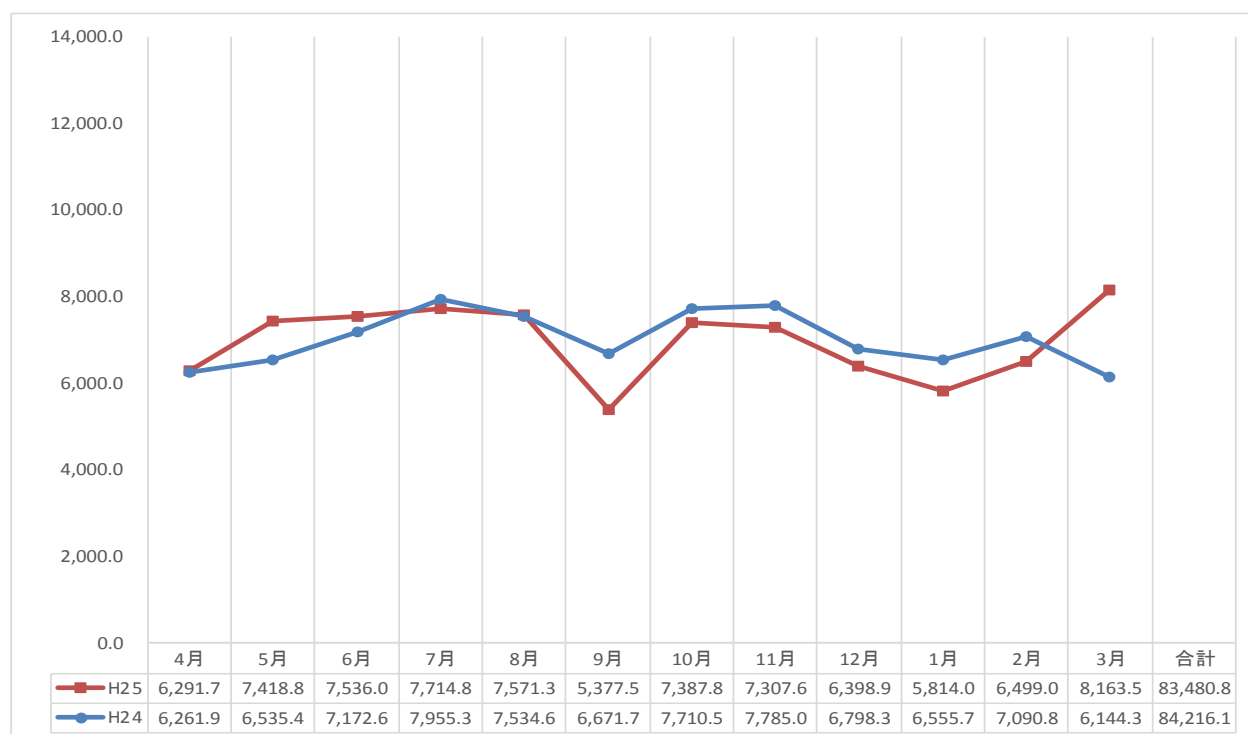
○ LPガス使用量について

LPガス使用量は41.5%の減少となりました。減少理由としては、宮守給食センターの廃止(△691 m<sup>3</sup>)及び総合食育センターのオール電化(△4,424 m<sup>3</sup>)が挙げられます。増加した施設についても、わずかな増加となっています。



オ ガソリン購入量 増減率 0.9%減(△735.3 ℓ)  
 総購入量 平成 25 年度 83,480.8 ℓ  
 平成 24 年度 84,216.1 ℓ

○ ガソリン購入量の推移



○ 購入量の多い施設（上位 5 施設）

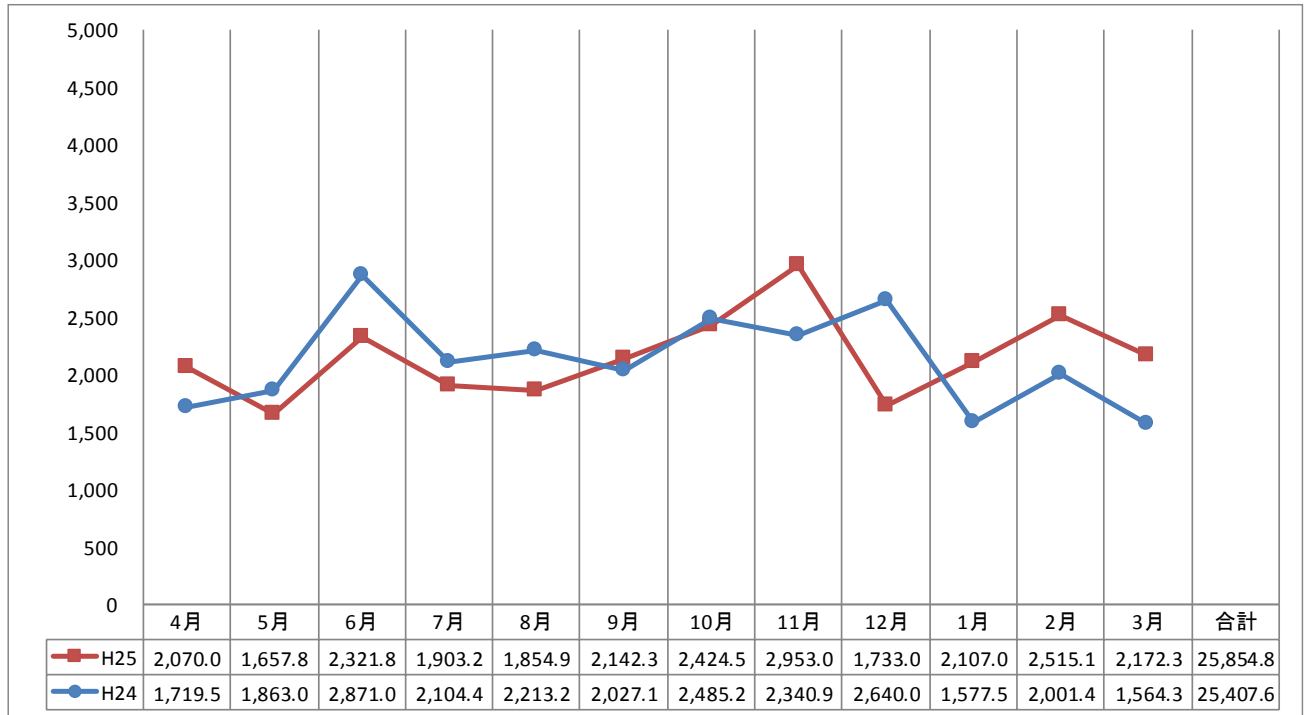
1	施設名等	購入量(ℓ)		前年度比	全体割合	増減要因及び使用内容
		H25	H24			
1	管理情報担当	H25	20,310.0	△1.4%	24.3%	節約に努めた
		H24	20,594.0			
2	総合防災センター	H25	9,254.0	7.3%	11.1%	救急市外搬送の増 H25 H24 救急件数:1,107件 1,175件 市外搬送: 266件 165件
		H24	8,627.0			
3	建設課	H25	6,228.6	0.9%	7.5%	除雪機使用の増
		H24	6,175.4			
4	長寿課	H25	5,972.2	56.4%	7.2%	県外への訪問対応による増
		H24	3,818.9			
5	水道事務所 上水道担当	H25	4,099.6	△2.9%	4.9%	節約に努めた
		H24	4,222.6			

○ ガソリン購入量について

ガソリン購入量は 0.9%とわずかですが、減少となりました。減少要因は、効率的な公用車の運行及び業務の減少を挙げています。

**カ 軽油購入量**                      **増減率**                      **1.8%増(447.2 ℓ)**  
**総購入量**                      **平成 25 年度**                      **25,854.8 ℓ**  
    **平成 24 年度**                      **25,407.6 ℓ**

○ 軽油購入量の推移



○ 購入量の多い施設（上位 5 施設）

	施設名等	購入量(ℓ)		前年度比	全体割合	増減要因及び使用内容
		H25	H24			
1	建設課	H25	5,291.2	77.3%	20.5%	除雪機使用と、災害(豪雨・台風)対応の増
		H24	2,985.0			
2	管理情報担当	H25	4,368.0	△5.8%	16.9%	節約に努めた
		H24	4,637.0			
3	総合防災センター	H25	3,538.0	△19.8%	13.7%	補充量の減
		H24	4,411.8			
4	清養園クリーンセンター	H25	2,589.2	△5.9%	10.0%	ローダー及び除雪機使用の減
		H24	2,753.0			
5	図書館・博物館 (文化課)	H25	2,437.7	△18.0%	9.4%	本の除籍作業の減少により減
		H24	2,971.3			

○ 軽油購入量について

軽油購入量は 1.8%の増加となっています。建設課における増加の理由として除雪及び災害対応が挙げられます。

### (3) 各部門ごとのエネルギー使用量及び購入量

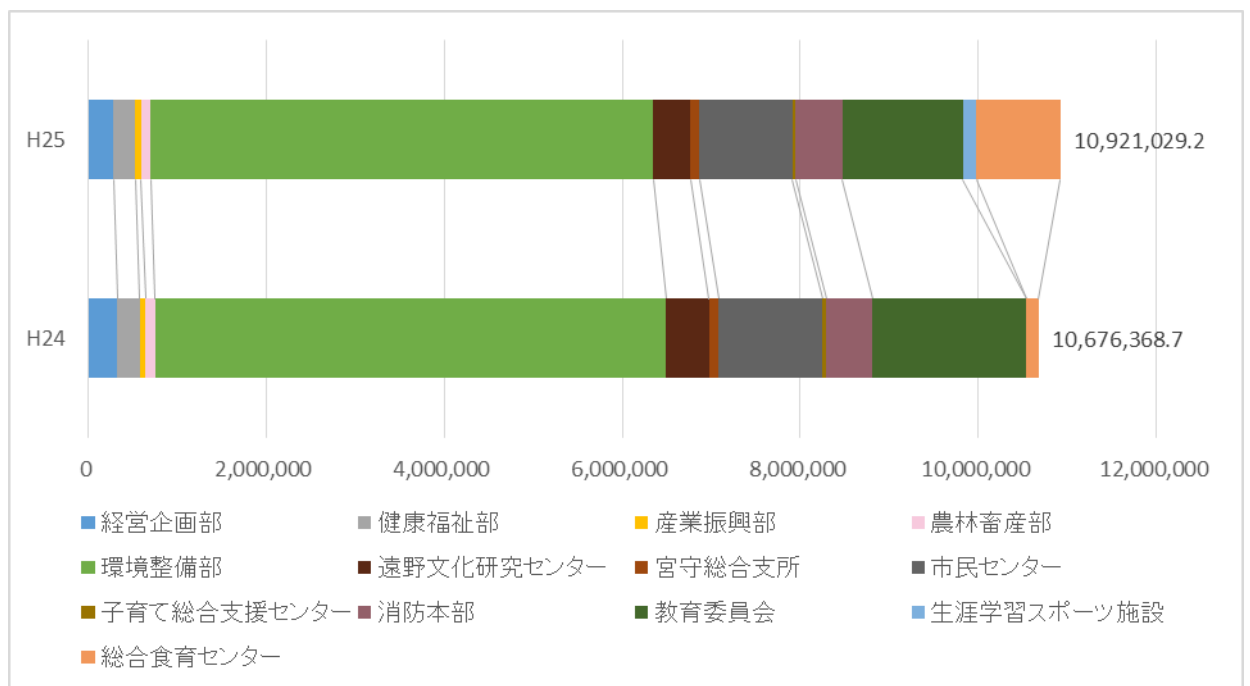
各部門ごとの使用量は次のグラフのとおりとなっています。なお、総合食育センター及び生涯学習スポーツ施設（旧中学校）は使用量及び購入量に大幅な増減があるため、所属部とは分けて記載しています。

※ 使用或いは購入のある部門のみグラフに記載

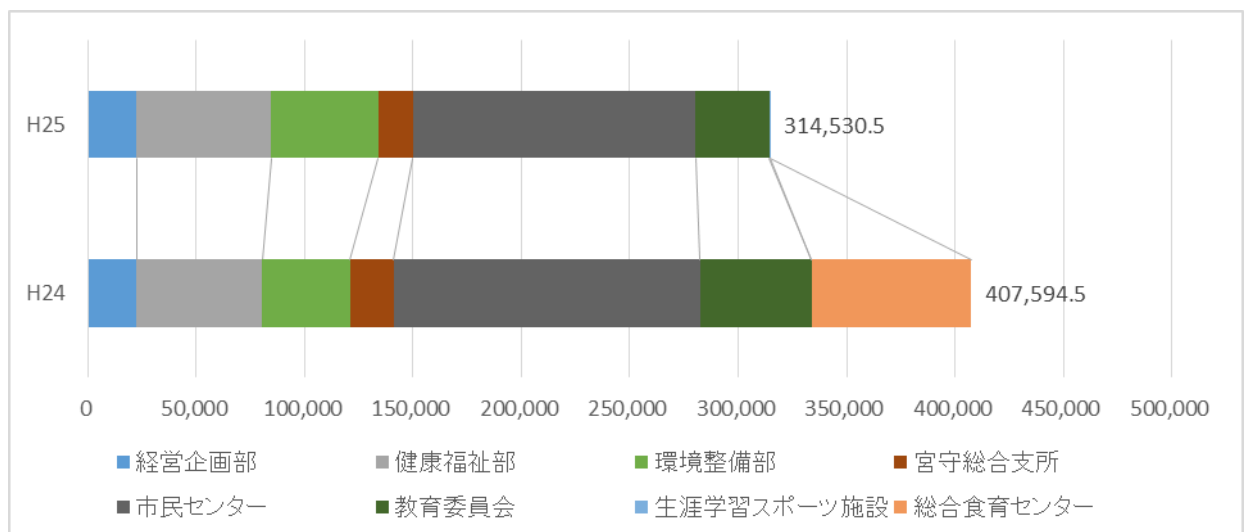
#### ア 電気及び設備燃料の使用量

総合食育センターのオール電化及び中学校再編成により、電気以外の設備燃料の使用及び購入量は減少となっています。電気使用量は総合食育センターが増加となっていますが、ヒートポンプと蓄熱システムを採用しており省エネルギーで環境にやさしい施設となっています。

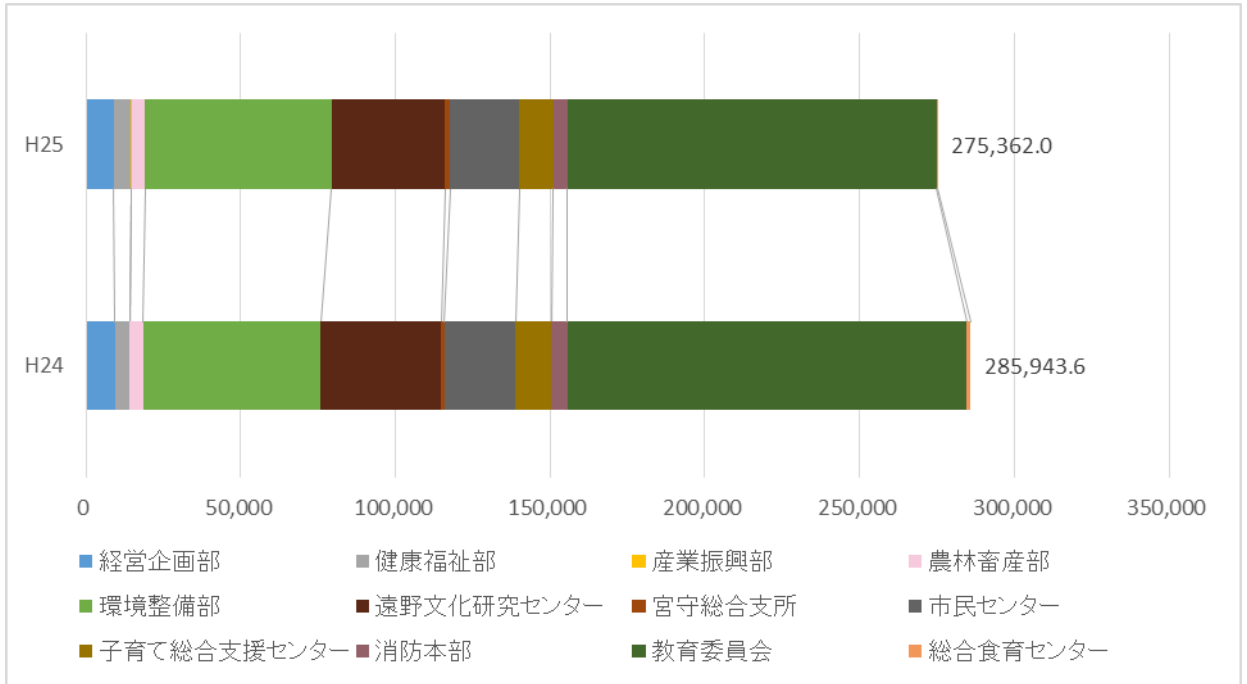
#### (ア) 電気使用量



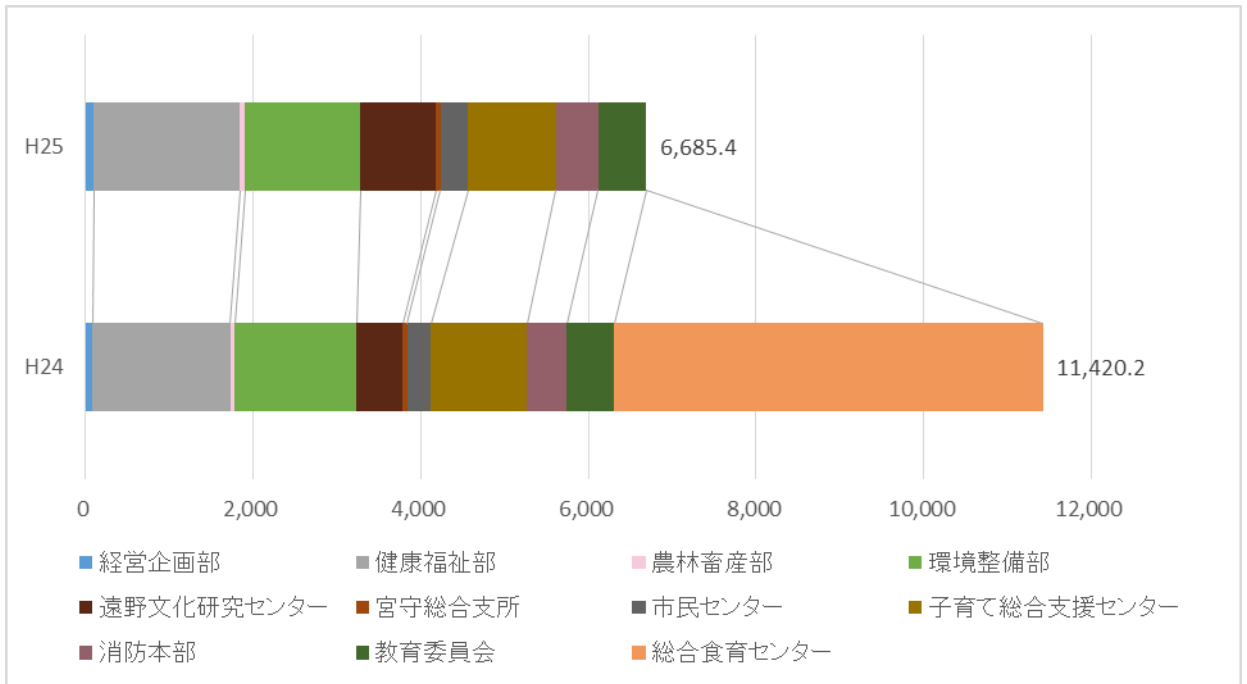
#### (イ) A重油購入量



(ウ) 灯油購入量



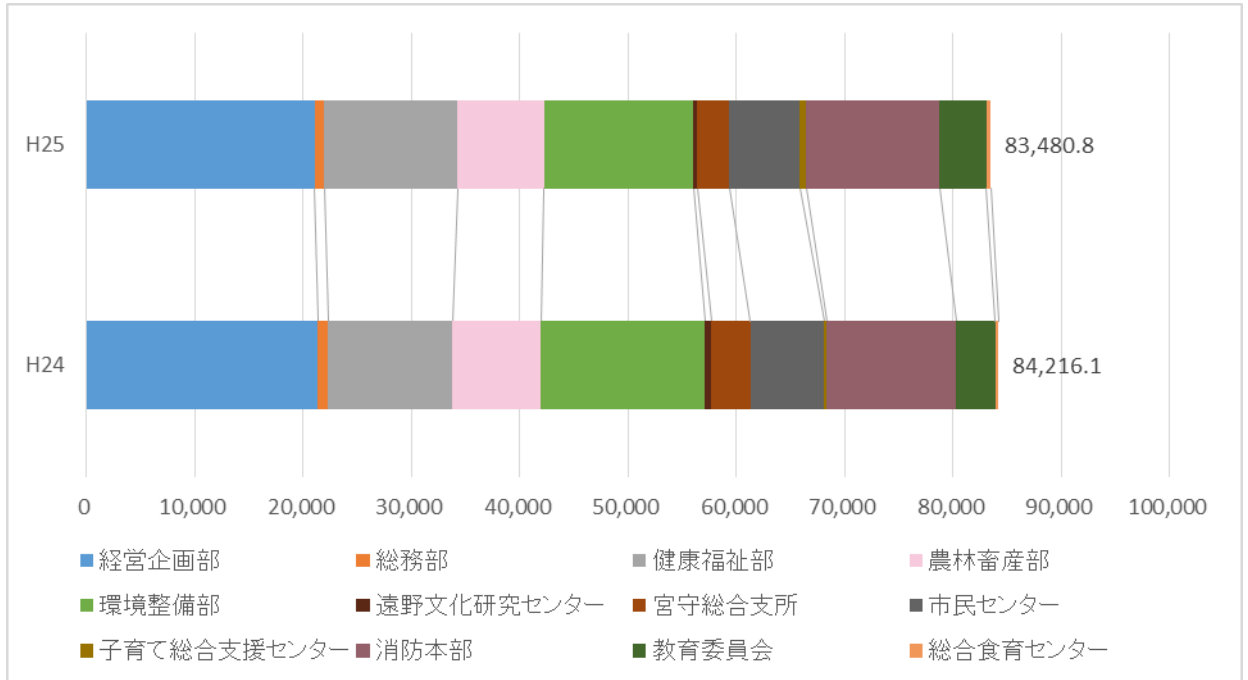
(エ) LPガス使用量



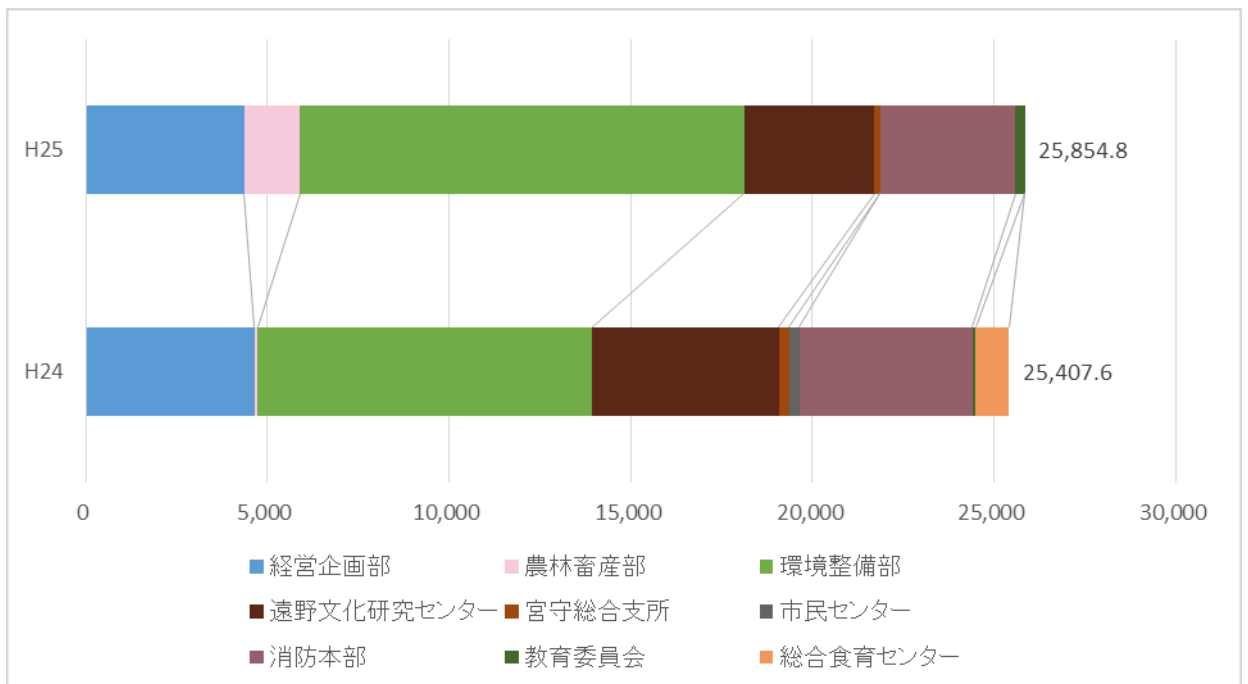
## イ 公用車燃料の購入量

ガソリンはわずかに減少、軽油は農林畜産部がディーゼル車を導入したことにより増加、環境整備部についても災害及び除雪にディーゼル車を使用したことから増加となっています。また、教育委員会では小中学校の除雪回数が増えたため軽油使用が24年度に比べて増加となっています。

### (ア) ガソリン購入量



### (イ) 軽油購入量



### 3 省資源に関する状況について

#### ○事務用紙購入量及び水道使用量について

平成 25 年度の水道使用量及び事務用紙購入量は、前年度に対して減少しました。要因としては、中学校再編成による学校数の減少が大きな要因として挙げられます。

事務用紙購入量については、可能な限り両面印刷及びミスコピーの削減並びに裏面使用を行うなど、節約に積極的に取り組んでいるといえます。

水道使用料が減少となった施設は 58 施設中 37 施設と前年度より 13 施設多い結果となりました。今後も各課でより一層の節約が求められます。

年 度	事務用紙購入量 (kg)	水道使用量(m <sup>3</sup> )
平成 22 年度 (前年度比)	39,679.20 129.11%	86,538 93.87%
平成 23 年度 (前年度比)	59,154.62 49.08%	100,934 16.28%
平成 24 年度 (前年度比)	36,241.17 △38.73%	108,640 7.63%
平成 25 年度 (前年度比)	35,309.10 △2.57%	101,236 △6.81%

### 4 平成 25 年度の実績状況について

#### (1) 全庁対象の取組み

職員ポータルによる周知、夏季と冬季には節電を呼びかけるポスターを庁内に掲示し、施設を利用する市民の皆様理解してもらうとともに、全職員に呼びかけを行いました。

また、岩手県地球温暖化防止活動推進員を講師としてお招きし、地球温暖化の現状と具体的な対策についての研修会を開催しました。研修会では講演のほか、ごみの分別の説明を行い、職員の意識啓発を行いました。さらに、各課の推進員を通じて、職員一人ひとりの意識の向上及び各課等での取り組みの徹底を図りました。

#### (2) 課ごとの取組み

各課等から施設別活動量調査票を半期ごとに提出を受け、取組状況及び温室効果ガスの排出量等について取りまとめを行いました。年間取りまとめの際、各エネルギーを前年度と比較し、増減要因の分析並びに今後の取り組みへ向けての課題を探ってもらいました。

## 5 今後の取り組みについて

### (1) 第2次遠野市地球温暖化対策実行計画の見直し

本計画の基準年度は東日本大震災前であり、施設変動等の大幅な変更が含まれていない目標値となっています。また、環境省は「地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体の事務及び事業に係る実行計画策定マニュアル及び温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」を平成26年3月に改訂し、その中で指定管理施設及び無人施設のエネルギー使用量も報告することが追加されました。

本計画の対象範囲は、職員が直接従事する事務及び事業としてきましたが、今後実行計画を改定する場合は、職員が直接従事していない指定管理施設及び無人施設も対象施設として報告する必要があります。

このことから、26年度に計画を見直しする予定でしたが、25年度のエネルギー使用量が基準とならないため、現在の計画を最終年度の平成27年度まで継続することとします。新たな計画を策定するにあたり、26年度を基準とするため指定管理施設及び無人施設においてもエネルギー使用量の報告を求めます。

報告対象施設数 H25：62施設

H26：118施設（内指定管理施設 56施設）

※ 無人施設（トイレ、街路灯）については上記数値に含まれていません。

### (2) 調査項目の一部変更

調査項目のうち電気について、新たに昼間の電気使用量の報告を求められていることから、活動量調査票に昼間の電気使用量の記入欄を設けました。毎月の電気使用量と共に、検針票に記載されている有効電力量を昼間の電気使用量として報告を求めるとします。

### (3) 再生可能エネルギー及び省エネルギー設備の導入

クリーンなエネルギーである再生可能エネルギー設備や、LED照明などの省エネルギー設備の導入により、相当量の二酸化炭素排出量の削減が期待できます。

平成26年度は、新エネルギービジョン策定予定であり、ビジョンに基づき積極的に各種設備導入を検討します。

- 自立分散型エネルギーシステムの導入を行う。（避難所、防災拠点等）
- 機器等の更新の際には、グリーン購入を実施する。
- LED照明の導入を推進する。

### (4) 使用エネルギーの削減（直接的な温室効果ガス排出抑制）

平成25年度の温室効果ガス総排出量は、平成24年度と比較すると5.0%の増加（402,332 kg-co2）となっています。使用量が増加している電気及び軽油の使用量の削減が課題となります。

施設の変動や業務量の増加等により、電気については増加傾向にあるためより一層の節電が求められます。日常業務、事業活動からの職員一人ひとりの自主的な取組として、下記の項目の徹底を図ります。

- 短時間でも席を離れる際には、パソコンモニターの電源を切る。
- ノー残業デーの徹底（週に1度は18時までに退庁する日を設ける）
- クール及びウォームビズの徹底
- 冷暖房使用時には、ブラインドやカーテンを併用し外気を遮断する。
- 退庁時は、できるだけOA機器、電気製品等のコンセントを抜く。
- 片道2km未満の外出は、できる限り徒歩や自転車を利用する。

## （5）事務用紙購入量及び水道使用量の削減並びにごみの分別の徹底

### ア 事務用紙購入量の削減

紙類の使用量が削減されれば、二酸化炭素の吸収源である森林資源の保全、廃棄物の減量につながります。

- 手持ち資料の印刷、庁内における簡易文書や内部の会議資料等の作成は、裏紙両面使用を徹底
- 用紙サイズ・印刷サイズを調整し、印刷枚数を減らす。
- 印刷やコピー前の原稿確認及び印刷機器等の使用後のリセット設定の徹底

### イ 水道使用量の削減

水の有効利用は浄水場及び下水処理施設等のエネルギー使用量の削減につながります。また、水道水を供給するためにも電気が使用されるため、水の使用量を削減することは二酸化炭素の排出削減に効果があります。

- 水を使用する際は、水量を必要最小限にする。
- 手洗い、歯磨きの際は、水を出したままにしない。
- トイレでは、水を流す回数を必要最小限にする。

### ウ ごみの分別の徹底

ごみの分別により廃棄物の減量になるだけでなく、資源としてリサイクルすることにより新たに製造する場合と比べて大幅なエネルギー使用量が削減されます。また、廃棄物の減量により、輸送エネルギーの節約にもつながります。

- 個人情報、機密文書以外はできるだけ分別し資源ごみとして排出する。
- 名刺以下の大きさの紙ごみは、使用済み封筒に入れ紙ヒモで縛って資源ごみとして排出する。



(添付資料1)

## 新施設の概要

### 1 遠野市総合食育センター

遠野市松崎町白岩 31-44-1

- ・施設規模  
鉄骨造2階建て  
(延床面積 2,256.89 m<sup>2</sup>)
- ・調理能力  
学校給食 2,500食／1日  
宅配弁当 100食／1日
- ・熱源  
オール電化施設
- ・省エネルギー対策  
ヒートポンプと蓄熱システムを導入



### 2 加守田章二陶房跡

遠野市青笹町糠前 9-5-3

- ・施設規模  
木造平屋  
(延床面積 51.23 m<sup>2</sup>)
- ・閉鎖期間  
12月～3月
- ・入館料  
無料



加守田章二は20世紀後半の日本陶芸界に、異色の才能を輝かせた陶芸家。加守田は1969年から10年間、遠野に移り住み、新境地を拓く作品を次々と生み出した。その制作の場である陶房と単窯を公開するとともに、加守田の生涯を紹介している。

### 3 南部曲り家千葉家

遠野市綾織町上綾織 1-14

- ・施設規模  
木造一部2階建て(母屋)  
(延床面積 301.64 m<sup>2</sup>)
- ・閉鎖期間  
年末年始  
平成25年7月から遠野市の所有となったため、新施設として追加。



### 地球温暖化対策実行計画推進組織図

